



# 平成 19 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結） 平成 18 年 7 月 5 日

上場会社名 わらべや日洋株式会社 (コード番号：2918 東証第一部)  
 (URL <http://www.warabeya.co.jp/>)

問合せ先

代表者役職 代表取締役社長 氏名 陶 新二  
 責任者役職 常務取締役管理本部長 氏名 窪田 彰二 (TEL:(042) 345 3131)

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容)税金費用の計算等につきましては、一部簡便な方法を採用しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成 19 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 18 年 5 月 31 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年2月期第1四半期	34,705	3.2	1,086	84.6	988	58.9	399	95.3
18年2月期第1四半期	33,641	5.7	588	47.6	622	37.6	204	64.4
(参考)18年2月期	135,950		1,640		1,384		401	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年2月期第1四半期	24	44	24	24
18年2月期第1四半期	13	27	12	98
(参考)18年2月期	22	97	22	64

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

期中平均株式数(連結) 19年2月期第1四半期 16,351,537株

18年2月期第1四半期 15,420,341株

18年2月期 16,057,707株

[ 経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に設備投資が引き続き増加し、個人消費も緩やかに改善するなど、着実な回復を続けました。

こうした状況下、当社グループはグループ間の連携・協力を強化し、より価値ある商品作りに注力するとともに、コストダウンを強力に推し進めてまいりました。これにより、当第1四半期の当社グループの売上高は347億5百万円(前年同期比3.2%増)となりました。経常利益は9億8千8百万円(前年同期比58.9%増)、さらに四半期純利益は3億9千9百万円(前年同期比95.3%増)となりました。

## (2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり 純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
19年2月期第1四半期	61,159		24,558		40.1	1,501	06
18年2月期第1四半期	58,450		24,028		41.1	1,485	02
(参考)18年2月期	58,819		24,537		41.7	1,498	66

(注) 期末発行済株式数(連結) 19年2月期第1四半期 16,351,486株

18年2月期第1四半期 16,180,744株

18年2月期 16,351,586株

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年2月期第1四半期	1,899	669	634	6,668
18年2月期第1四半期				
(参考)18年2月期	3,100	8,794	5,749	4,805

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期における総資産は、前第1四半期末に比べて27億9百万円増加し、611億5千9百万円となりました。純資産につきましては、5億2千9百万円増加し245億5千8百万円となりました。

[ キャッシュ・フローの状況 ]

営業活動によるキャッシュ・フローは、18億9千9百万円の増加となりました。この主な要因は税金等調整前四半期純利益9億8千8百万円の計上と減価償却費6億6千5百万円を計上したことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは6億6千9百万円の減少となりました。この主な要因は有形固定資産の取得による支出5億4千4百万円によります。

財務活動によるキャッシュ・フローは6億3千4百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入れによる収入8億円によります。

この結果、「現金及び現金同等物」の当第1四半期末残高は前連結会計年度末と比較して18億6千3百万円増加し66億6千8百万円となりました。

3. 平成19年2月期の連結業績予想（平成18年3月1日～平成19年2月28日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	74,144	1,796	906	55 41
通期	145,560	2,737	1,318	80 60

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

業績予想につきましては、平成18年4月13日発表の数値を変更しておりません。

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

1. (要約) 第1四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当第1四半期末 (平成18年5月31日現在)		前第1四半期末 (平成17年5月31日現在)		増 減		(参考)平成18年2月期末 (平成18年2月28日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
<b>(資産の部)</b>		%		%		%		%
<b>流動資産</b>	<b>23,468</b>	<b>38.4</b>	<b>23,407</b>	<b>40.0</b>	<b>61</b>	<b>0.3</b>	<b>20,882</b>	<b>35.5</b>
1. 現金及び預金	6,668		4,708		1,960		4,805	
2. 受取手形及び売掛金	12,034		13,673		1,639		11,883	
3. たな卸資産	2,290		3,183		892		2,270	
4. その他	2,477		1,844		633		1,924	
貸倒引当金	1		1		0		1	
<b>固定資産</b>	<b>37,595</b>	<b>61.4</b>	<b>34,974</b>	<b>59.9</b>	<b>2,621</b>	<b>7.5</b>	<b>37,827</b>	<b>64.3</b>
<b>1.有形固定資産</b>	<b>31,711</b>	<b>51.8</b>	<b>29,521</b>	<b>50.5</b>	<b>2,190</b>	<b>7.4</b>	<b>31,854</b>	<b>54.2</b>
(1) 建物及び構築物	14,386		12,390		1,995		14,643	
(2) 機械装置及び運搬具	4,597		4,111		485		4,585	
(3) 土地	12,284		12,281		3		12,283	
(4) 建設仮勘定	227		542		315		118	
(5) その他	216		195		21		223	
<b>2.無形固定資産</b>	<b>982</b>	<b>1.6</b>	<b>1,091</b>	<b>1.9</b>	<b>108</b>	<b>10.0</b>	<b>1,018</b>	<b>1.7</b>
<b>3.投資その他の資産</b>	<b>4,900</b>	<b>8.0</b>	<b>4,361</b>	<b>7.5</b>	<b>539</b>	<b>12.4</b>	<b>4,954</b>	<b>8.4</b>
<b>繰延資産</b>	<b>95</b>	<b>0.2</b>	<b>68</b>	<b>0.1</b>	<b>26</b>	<b>39.1</b>	<b>109</b>	<b>0.2</b>
<b>資産合計</b>	<b>61,159</b>	<b>100.0</b>	<b>58,450</b>	<b>100.0</b>	<b>2,709</b>	<b>4.6</b>	<b>58,819</b>	<b>100.0</b>

(単位：百万円、%)

科目	期別	当第1四半期末 (平成18年5月31日現在)		前第1四半期末 (平成17年5月31日現在)		増減		(参考)平成18年2月期末 (平成18年2月28日現在)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
<b>(負債の部)</b>			%		%		%		%
<b>流動負債</b>		<b>24,010</b>	<b>39.2</b>	<b>26,243</b>	<b>44.9</b>	<b>2,233</b>	<b>8.5</b>	<b>21,880</b>	<b>37.2</b>
1. 支払手形及び買掛金		8,400		9,353		953		8,063	
2. 短期借入金		7,338		9,052		1,714		6,807	
3. 未払金		4,788		3,490		1,298		4,737	
4. その他		3,483		4,346		863		2,273	
<b>固定負債</b>		<b>12,591</b>	<b>20.6</b>	<b>8,165</b>	<b>14.0</b>	<b>4,426</b>	<b>54.2</b>	<b>12,387</b>	<b>21.1</b>
1. 社債		150		150		-		150	
2. 長期借入金		10,737		6,257		4,479		10,400	
3. 退職給付引当金		1,468		1,421		47		1,474	
4. 役員退職慰労引当金		184		285		100		311	
5. その他		50		50		-		50	
<b>負債合計</b>		<b>36,601</b>	<b>59.8</b>	<b>34,408</b>	<b>58.9</b>	<b>2,193</b>	<b>6.4</b>	<b>34,268</b>	<b>58.3</b>
<b>(少数株主持分)</b>									
少数株主持分		-	-	13	0.0	-	-	13	0.0
<b>(資本の部)</b>									
資本金		-	-	7,011	12.0	-	-	7,106	12.1
資本剰余金		-	-	7,106	12.2	-	-	7,201	12.2
利益剰余金		-	-	9,989	17.1	-	-	10,186	17.3
その他有価証券評価差額金		-	-	32	0.1	-	-	73	0.1
為替換算調整勘定		-	-	34	0.1	-	-	16	0.0
自己株式		-	-	11	0.0	-	-	13	0.0
<b>資本合計</b>		<b>-</b>	<b>-</b>	<b>24,028</b>	<b>41.1</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>24,537</b>	<b>41.7</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>		<b>-</b>	<b>-</b>	<b>58,450</b>	<b>100.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>58,819</b>	<b>100.0</b>
<b>(純資産の部)</b>									
<b>株主資本</b>		<b>24,561</b>	<b>40.2</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
1. 資本金		7,106		-		-		-	
2. 資本剰余金		7,201		-		-		-	
3. 利益剰余金		10,266		-		-		-	
4. 自己株式		13		-		-		-	
<b>評価・換算差額等</b>		<b>16</b>	<b>0.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
1. その他有価証券評価差額金		33		-		-		-	
2. 繰延ヘッジ損益		35		-		-		-	
3. 為替換算調整勘定		14		-		-		-	
<b>少数株主持分</b>		<b>13</b>	<b>0.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>純資産合計</b>		<b>24,558</b>	<b>40.2</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>負債及び純資産合計</b>		<b>61,159</b>	<b>100.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

## 2. (要約) 第1四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	当第1四半期 (自平成18年3月1日 至平成18年5月31日)		前第1四半期 (自平成17年3月1日 至平成17年5月31日)		増 減		(参考)平成18年2月期 (自平成17年3月1日 至平成18年2月28日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
		%		%		%		%
売 上 高	34,705	100.0	33,641	100.0	1,064	3.2	135,950	100.0
売 上 原 価	29,413	84.8	28,920	86.0	493	1.7	117,994	86.8
売 上 総 利 益	5,291	15.2	4,721	14.0	570	12.1	17,956	13.2
販売費及び一般管理費	4,204	12.1	4,132	12.3	72	1.8	16,316	12.0
営 業 利 益	1,086	3.1	588	1.7	498	84.6	1,640	1.2
営 業 外 収 益	122	0.3	259	0.8	137	52.9	620	0.5
1. 受取利息及び配当金	10		21		10		39	
2. そ の 他	111		238		127		581	
営 業 外 費 用	220	0.6	226	0.7	5	2.5	876	0.7
1. 支 払 利 息	62		54		8		220	
2. そ の 他	157		171		13		655	
経 常 利 益	988	2.8	622	1.8	366	58.9	1,384	1.0
特 別 利 益	-	-	-	-	-	-	45	0.0
1. 火 災 保 険 差 益	-		-		-		45	
特 別 損 失	-	-	67	0.2	67	-	188	0.1
1. 役 員 退 職 慰 労 金	-		35		35		35	
2. 火 災 損 失	-		31		31		49	
3. た な 卸 資 産 処 分 損	-		-		-		102	
税金等調整前四半期(当期)純利益	988	2.8	555	1.6	433	78.1	1,242	0.9
税 金 費 用	589	1.6	349	1.0	239	68.6	840	0.6
少 数 株 主 利 益	0	0.0	0	0.0	1	-	1	0.0
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>399</b>	<b>1.2</b>	<b>204</b>	<b>0.6</b>	<b>195</b>	<b>95.3</b>	<b>401</b>	<b>0.3</b>

### 3. 第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		
		当第1四半期 (自 平成18年3月1日 至 平成18年5月31日)	(参考) 平成18年2月期
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益		988	1,242
減価償却費		665	2,544
連結調整勘定償却額		27	110
貸倒引当金増減額		0	3
退職給付引当金増減額		5	56
役員退職慰労引当金増減額		126	45
受取利息及び受取配当金		10	39
支払利息		62	220
有形固定資産除却損		8	136
売上債権の増減額		151	10
たな卸資産の増減額		19	653
仕入債務の増減額		337	772
取締役賞与支払額		32	70
その他		634	268
小 計		2,378	4,320
利息及び配当金の受取額		10	39
利息の支払額		61	221
法人税等の支払額		428	1,115
その他		-	78
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,899	3,100
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出		544	7,994
投資有価証券の取得による支出		1	25
貸付けによる支出		110	976
貸付金の回収による収入		6	75
その他		19	126
投資活動によるキャッシュ・フロー		669	8,794
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額		590	1,062
長期借入れによる収入		800	4,508
長期借入金の返済による支出		519	1,922
配当金の支払額		235	244
その他		0	4,469
財務活動によるキャッシュ・フロー		634	5,749
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	15
現金及び現金同等物の増減額		1,863	70
現金及び現金同等物の期首残高		4,805	4,734
現金及び現金同等物の期末残高		6,668	4,805

## 4. セグメント情報

### 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期（自平成18年3月1日 至平成18年5月31日）（単位：百万円）

	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	26,287	5,153	2,331	934	34,705		34,705
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高		292	418	603	1,314	1,314	
計	26,287	5,445	2,749	1,537	36,019	1,314	34,705
営業費用	25,384	5,464	2,635	1,458	34,943	1,324	33,618
営業利益	902	19	113	79	1,076	10	1,086

前第1四半期（自平成17年3月1日 至平成17年5月31日）（単位：百万円）

	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	24,969	5,498	2,051	1,121	33,641		33,641
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	252	531	1,712	2,496	2,496	
計	24,969	5,751	2,582	2,834	36,138	2,496	33,641
営業費用	24,614	5,689	2,463	2,734	35,501	2,449	33,052
営業利益	354	62	119	99	636	47	588

（参考）平成18年2月期（自平成17年3月1日 至平成18年2月28日）（単位：百万円）

	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	101,541	22,918	8,774	2,717	135,950		135,950
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	1,162	1,638	6,377	9,179	9,179	
計	101,541	24,080	10,412	9,095	145,130	9,179	135,950
営業費用	100,661	23,911	10,037	8,844	143,455	9,144	134,310
営業利益	880	169	375	250	1,675	34	1,640

（注）1. 事業区分は、事業の種類・性質を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な内容

事業区分	主要な内容
食品関連事業	弁当、おむすび、寿司、調理パン、惣菜等調理済食品の製造、販売
食材関連事業	食品用材料の仕入、加工、販売
物流関連事業	食品関係配送
その他の事業	食品製造設備の販売

3. 当第1四半期、前第1四半期および平成18年2月期における営業費用のうち、消去又は全社の項目には、配賦不能営業費用に該当するものではありません。

#### 4. 事業区分の変更

前第1四半期につきましては、食品関連事業、食材関連事業、その他の事業の3区分としておりましたが、その他の事業に含まれていた物流関連事業の営業利益が、営業利益の生じているセグメントの営業利益の合計額の10%を常態として超えることとなり重要性が増したことから、前連結会計年度より、食品関連事業、食材関連事業、物流関連事業、その他の事業の4区分としております。